

じそんのかね

自尊の鐘



葦崎西中学校 学校だより

2020.7.13 NO7

発行責任者 校長 秋澤英俊

「人を敬い、いっくしみ、自らをたつとび高める」、校訓『敬愛自尊』のもとに、毎朝鳴らされる「自尊の鐘」。今日をどのように過ごし自分を高めていくのか、鐘の音を聴きながら「理想をめざし日に進む」(校歌)、生徒たちの成長の姿をお知らせします。



職業について考えるー葦崎しごと展

例年なら2年生はこの時期に職場体験学習を行っているはずですが、今年は、企業も受け入れが難しく、残念ながら、中止せざるを得ませんでした。その代わりに少しでも生徒たちに学習する機会をとということで、7月9日(木)の5,6校時に、「職業講話(葦崎しごと展)」が行われました。



例年職場体験の時にお世話になるNPO法人「河原部社」に、今年も講師の絞り込みから派遣、当日の運営等をコーディネートしていただきました。「河原部社」には、多彩な業種や講師陣につなげていただき(本校のブログに講師名を掲載しています。併せてご覧ください)生徒たちはその中で二人を選び、話に真剣に耳を傾け、たくさんの質問をしていました。講師の方々でさえも「なぜその職業を選び働くことになったのか」はそれぞれです。まっすぐに一筋の道を進んでなった人もいれば、紆余曲折を経てなった人もいます。また何かのきっかけや出会いによりその道へ進むことになった人もいます。大切なのは、アンテナを高くし、何にでも興味関心を持って心や頭のゲートを開いていること、それによって自分の進む道や運命的な仕事との出会いがあるのではないかと思います。2年生122名の生徒たちも何がきっかけで自分の道が開けるか、将来が楽しみでもあり、学校でもいろいろなことに挑戦させ、様々なことに会う、そんな学びをさせていかなければならないと改めて思いました。



「素質はそのときだけ、でも努力は一生の宝となる」そんな講師の言葉もありました。今年のような状況の中でもできることを積み重ね、学校でも生徒と共に一步一步進んで行きたいと思えます。

